



SEASIDE PARK

ひたち海浜公園から発信する旬な情報

国営ひたち海浜公園
PRESS RELEASE

2016年8月5日

H28年度 VOL. 25

カラフルで元気。でもどこか懐かしい…！
ノスタルジックな夏の風景が目の前に広がります。

カラフルな
35万本の
みはらしの里の **ジニア** 見頃です！



2016年8月1日撮影

“夏の花”と言えば、ヒマワリを連想される方が多いでしょう。暑い夏の日差しに負けず、輝く黄色の花を見ると元気がもらえますよね。本公園にもヒマワリ畑がありますが、その隣にヒマワリに負けず劣らず元気を与えてくれそうな“夏の花”があるんです。ヒマワリと同じキク科の花で **ジニア（和名：百日草）** といい、まさに今、まさに見頃を迎えています。

「百日草」という和名の方が馴染み深いこの花ですが、百日間咲き続ける訳ではなく、一つの茎から次々と花を咲かせ続ける花期の長さから命名されました。

夏の暑さに負けず元気に咲き誇るビタミンカラーのジニアの花々は、夏の太陽を浴びてより一層鮮やかに輝きます。見ていて元気になるだけでなく、どこか懐かしい雰囲気も醸し出しているジニア。茅葺の古民家、入道雲、セミの声…。懐かしい里山の原風景とともに本公園ならではの夏のワンシーンを見に来ませんか？

お問い合わせ先

国営ひたち海浜公園 ひたち公園管理センター 広報係 服部・浅沼

〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼 605-4

TEL: 029-265-9001 (報道関係者の方は 029-265-9004・9005 迄) FAX: 029-265-9339

ホームページ <http://www.hitachikaihin.jp> “ひたち海浜公園”で検索。

ジニア

今年の咲始め：7月26日頃
今年の見頃：8月上旬～9月上旬

キク科ジニア属

場所：みはらしの里 面積：約3,400㎡
本数：約35万本 品種数：6品種

【今年の特徴】

みはらしの里の畑に、5色の大輪品種をミックスして植栽。その周りを、背丈の低いオレンジ色の品種で縁取っています。また、花畑内に円形の単色エリアを配置し、ミックス以外に単色ごとの花畑もお楽しみいただけます。

ジニアの花言葉：遠い友を思う、幸福・高貴な心

「ジニア」の名は、この花をメキシコからヨーロッパにはじめてもたらした、ドイツ人の医学・植物学者ヨハン・ゴットフリート・ツイン（Johann. Gottfried. Zinn）に因みます。和名を「百日草（ヒャクニチソウ）」と言いますが、1つの花が百日間咲き続けるという意味ではありません。同じ株に次々と蕾が付いて花が咲くことから、観賞期間が長いこと、花持ちのよさを表しています（1つの花の開花期間は10～15日程度）。別名に「長久草（チョウキュウソウ）」、「浦島草（ウラシマソウ）」があります。メキシコ原産で、日本には江戸時代末期に伝来しました。

～新たな夏の景観を創り出すために～

本公園のジニアは、2014年より植栽場所を大草原エリアにある「大草原フラワーガーデン」から、現在の「みはらしの里」に変更しました。

それまで「みはらしエリア」は、夏にご覧いただける植物が少ない状況でした。**この場所に、当園ならではの新たな夏の景観を創出し、みはらしの丘の緑葉のコキアとともに、お客様にみはらしエリアで夏を楽しんで頂きたい。**そんな思いから、当時同じ「大草原フラワーガーデン」に植栽していたヒマワリとともに、「みはらしの里」の畑へ植栽場所を変更しました。

現在では、ジニアをはじめ、コキアやヒマワリ、古民家などが創り出す夏風景を楽しまれるお客様が増え、夜間開催の「コキアライトアップ（今年は8/19～28）」とともに、みはらしエリアの夏の新名所として賑わいを見せています。



2012年8月19日撮影



2014年8月13日撮影

ジニアが彩る、みはらしエリアの夏風景をご紹介します



茅葺き屋根の古民家の前の畑に、昔懐かしい里の原風景が広がります。



緑葉のコキアが創り出す風景に、カラフルなジニアが彩りを添えます。



大輪の眩いヒマワリとビタミンカラーのジニアの競演も必見です。

～ジニアの話～ 宇宙で初めて咲いた花、それはジニアです！

2016年1月16日（土）、国際宇宙ステーションに長期滞在していたアメリカの宇宙飛行士スコット・ケリーさんのツイッターに「初めての宇宙育ちの花が咲いたよ」というコメントが、オレンジ色の一輪のジニアの写真とともに投稿されました。高温や乾燥への耐性、生育の旺盛さなどの優れた特性から実験対象に選ばれたジニアは、実験装置の赤、緑、青の発光ダイオード(LED)で栽培されており、途中困難もありましたが、無事開花しました。

